

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 2 0 日

青森知事 殿

提出者

住 所 青森県十和田市大字三本木字本金崎230番地1

株 式 会 社 田 中 組

氏 名 代 表 取 締 役 田 中 俊 次

電話番号 0176(23)3536

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 田 中 組
事業場の所在地	青森県十和田市大字三本木字本金崎230番地1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 478,558万円（令和6年7月度実績）
③従業員数	78名（令和7年4月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり(1)

(日本工業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり(2)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成 6 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	排 出 量	4.76 t	925.20 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	排 出 量	4.00 t	930.00 t
	(今後実施する予定の取組) 排出量は、受注量や工種内容によって決定するため、産業廃棄物の発生量を抑制することは難しいが、更なる分別に努め産廃排出量の削減に繋げたい。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート片・廃アスファルト・木くず等の主だった廃棄物は、解体・分別が確実に実施されている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、他の廃棄物の更なる分別を実施していきたい。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排 出 量	0.53 t	4.44 t	52.90 t	57.49 t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排 出 量	- t	4.00 t	53.00 t	57.00 t

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排 出 量	86.48 t	1,687.70 t	2,414.66 t	6.30 t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排 出 量	86.00 t	1,600.00 t	2,400.00 t	6.00 t

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず <sup>※</sup>	木くず <sup>※</sup>	繊維くず
排 出 量	7.68 t	5.19 t	112.64 t	7.87 t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず <sup>※</sup>	木くず <sup>※</sup>	繊維くず
排 出 量	7.00 t	5.00 t	110.00 t	7.00 t

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
排 出 量	0.37 t	6.37 t	- t	t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
排 出 量	- t	6.00 t	t	t

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	全処理委託量	4.76 t	925.20 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	917.52 t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	918.26 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用を実施している業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを推進している。		

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	0.53 t	4.44 t	52.90 t	57.49 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.22 t	- t	0.24 t	2.92 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	4.44 t	52.66 t	57.49 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 3

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	86.48 t	1,687.70 t	2,414.66 t	6.30 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.74 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	84.34 t	1,687.70 t	2,414.66 t	6.30 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（平成 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
全 処 理 委 託 量	7.68 t	5.19 t	112.64 t	7.87 t
優良認定処理業者 への処理委託量	7.06 t	0.06 t	2.79 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	2.88 t	109.85 t	7.87 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(平成 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
全処理委託量	0.37 t	6.37 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.32 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	0.37 t	6.37 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t



## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥
	全 処 理 委 託 量	4.00 t	930.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	920.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	920.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生利用業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを 推進する。 また、廃プラスチックの更なるリサイクルを推進し、再生利用業者 への排出割合を増大させていきたい。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全 処 理 委 託 量	- t	4.00 t	53.00 t	57.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	10.00 t	10.00 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	4.00 t	53.00 t	57.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全 処 理 委 託 量	86.00 t	1,600.00 t	2,400.00 t	6.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	20.00 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	84.00 t	1,600.00 t	2,400.00 t	6.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

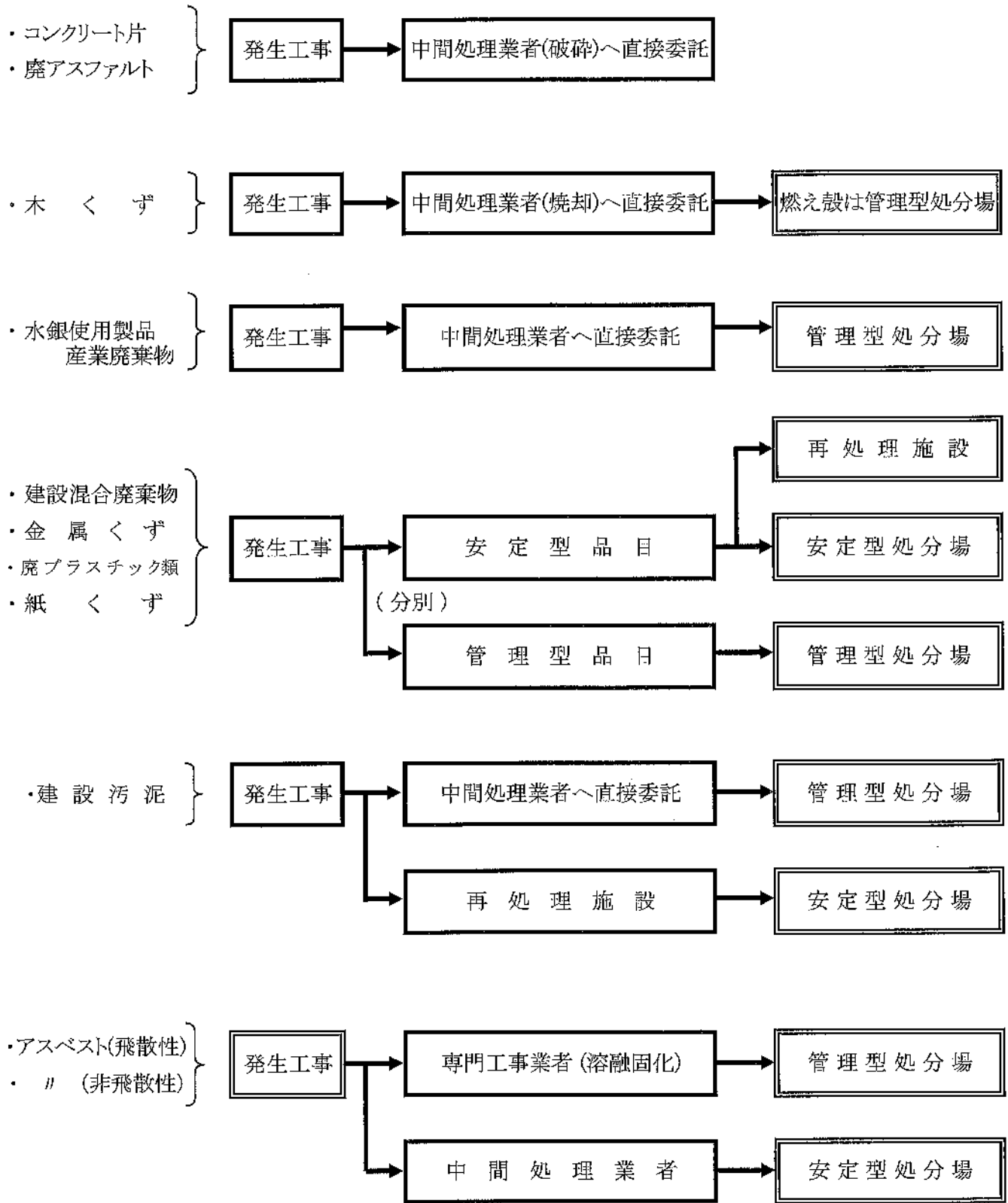
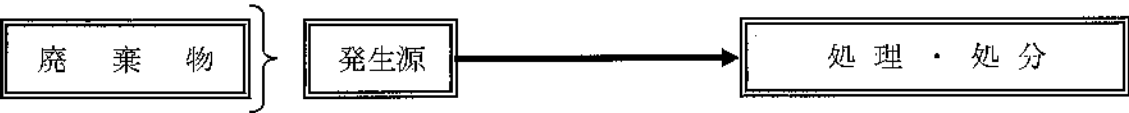
【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
全 処 理 委 託 量	7.00 t	5.00 t	110.00 t	7.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	7.00 t	1.00 t	20.00 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	3.00 t	110.00 t	7.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	建設混合廃棄物		
全 処 理 委 託 量	- t	6.00 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	6.00 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

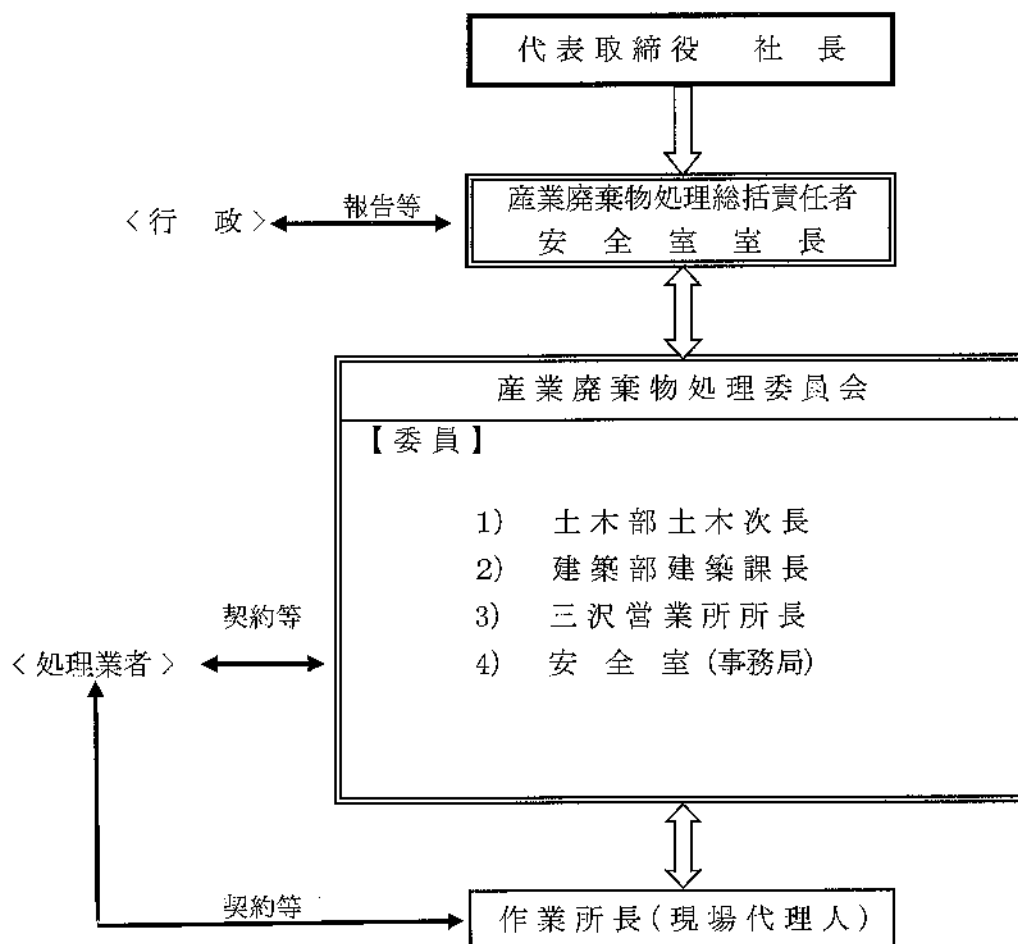
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程(別紙1)



○ 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項(別紙2)

(管理体制図)



(役割分担)

管理組織上の役割名	当該責任者の役割(責務)の内容
産業廃棄物処理総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物処理方針の策定、実施状況の総括管理を行う。</li> <li>処理委員会において、部門間の調整を行うとともに行政への報告を行う。</li> </ul>
産業廃棄物処理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部門より選任された委員により、廃棄物の発生抑制、再生利用適正処理の推進、計画的な管理運営を行う上で必要な事項(教育訓練等を含む)を検討する。</li> <li>処理業者との委託契約、交付マニフェストの全社管理を行う。</li> </ul>
作業所長(現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業所の廃棄物処理計画の作成。</li> <li>廃棄物管理状況の把握と改善策の検討。</li> <li>処理業者、再生利用者の調整、選定及び管理。</li> <li>委託契約の締結及びマニフェストの交付。</li> <li>作業所員並びに協力会社に対する指導及び啓発活動。</li> <li>その他、関連する事項。</li> </ul>